

## 宇城市立小中学校次世代校務環境システム整備・利用提案書評価基準

### 1 概要

提案者の提案書に対して、次に定める基準に従い評価する。

### 2 評価方法

#### (1) 評価者

宇城市立小中学校次世代校務環境システム整備・利用に係る公募型プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、各委員が各提案について絶対評価を行う。

#### (2) 提案書の評価

提案者の提案書を、プレゼンテーションを通じそれぞれ次の基準により評価する。

提案書の評価は、提案者から提出された提案書をもとに、プレゼンテーションを通じて評価を行うこととする。提案書の採点方法は、プロポーザル実施要項に記載の7(3)の提案書の構成それぞれに割り当てられた配点に評価採点表の重点係数を乗じて採点する。

#### (3) 評価基準

参加者の絶対評価により評価を行う。

項目の評価	評価点
特に優れており、極めて満足できる	5
十分に考慮され、優れている	4
考慮されており、ほぼ満足できる	3
考慮されているが、不足がある	2
ほとんど考慮されておらず、極めて不足である	1
全く考慮されておらず、記載がない	0

#### (4) 価格点

提案者の見積額について、次のとおり得点化を行う。

提案者中に見積額が最低となった提案に対し、40点を評価点とする。  
他の提案者については、次の数式で算出した点数を評価点とする。  
見積額を税込みで算定し、小数点以下切り捨てて得た点数を評価点とする。

【提案価格評価点の計算式】

$$\text{評価点} = \text{配点} 40 \times \frac{\text{最低見積額}}{\text{見積額}}$$

### 3 審査項目及び評価項目等

次のとおり、審査項目及び評価項目等を設定する。

番号	審査項目	評価項目	評価の視点
1	提案者に関する項目	経営力・企業力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営が安定しているか。</li> <li>・他の本市教育 ICT 関係業者との円滑な連携が可能か。</li> </ul>
		セキュリティ	情報セキュリティ対策を十分に講じている組織（体制）であるか。
		業務実績	教育関係システムの構築や保守等の十分な実績を有しており、信頼できるか。
2	プロジェクト体制 スケジュール	プロジェクト体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備期間及び運用期間において、円滑かつ確実な業務の遂行が可能な体制か。</li> <li>・本件を確実に遂行するために必要な人員が確保されているか。</li> </ul>
		導入スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑かつ無理のないスケジュールであるか。</li> <li>・具体的で学校現場に考慮したスケジュールであるか。</li> </ul>
3	調達	調達方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件の目的等を踏まえ、整備する環境全体の基本的な考え方を正確に理解しているか。</li> <li>・取組姿勢が適切で、意欲があるか。</li> </ul>
		提案製品の实用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークへの負荷が低く、遅延を最小限に抑えられる製品か。</li> <li>・5年間以上安定的に利用できる製品であるか。</li> <li>・各製品間の連携が円滑であり、システム全体として整合性が取れているか。</li> </ul>
		④クラウドストレージ	利用者（教職員）及び管理者の視点から、次について評価を行う。
		⑤IDaaS	
		⑥MDM	
		⑦ウイルス対策	
		⑧Web フィルタ	
		⑨多要素認証	
		⑩シングルサインオン	
		⑪通信経路の暗号化	
⑫データの暗号化			
⑬不正なアクセスを検知・遮断する技術			

		⑭運用管理	
		⑮保護者連絡ツール	
		⑯障害対応記録	
		⑰デジタル教科書	
4	端末	教職員用端末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性が高いか。</li> <li>・調達製品の機能を最大限に活用できるか。</li> </ul>
5	構築	構築等	<p>確実に、円滑に、教育現場に負担なく本件を構築できるか。特に次の項目で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト管理</li> <li>・設計</li> <li>・構築</li> <li>・テスト</li> <li>・データ移行</li> </ul>
		導入支援	<p>本件が円滑に利用開始できるよう導入支援が適切で、充実しているか。特に次の項目で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入研修</li> <li>・支援体制、支援内容</li> </ul>
6	運用保守	ヘルプデスク	教育委員会及び学校からの問合せに対するヘルプデスクが充実しているか。
		運用保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構築した環境に関し、適切に運用保守が行われるか（リモート保守含む）。</li> <li>・障害発生時の対応が速やかで信頼性が高いか。</li> </ul>
		挙動監視サービス	監視対象範囲や調査や報告、対応等内容が充実しているか。
7	独自提案	独自提案	仕様書の内容以外に提案価格内で、本件の目的に合致した充実した提案となっているか。

#### 4 受託候補者の特定

この評価基準に基づく評価の結果、最低基準点以上を満たす者の中から、総合得点の最も高い提案を行った参加者を優秀提案者として選定する。ただし、最高点の者が複数いる場合は、見積金額を除く点数が高い者を受託候補者として選定する。

なお、評価点が同点で見積金額が同額である者が複数いる場合は、評価委員会委員長の評価点の高い者を受託候補者として選定する。

評価点は満点を400点とし、プレゼンテーションについては、各評価項目の最高点と最低点を除いたものの平均点を算出し、重点係数を乗じたうえで、各項目を合計する。

また、本プロポーザルの審査における最低基準点は、合計得点から見積書の配点を除いた得点の60%とし、最低基準点を下回る者は、受託候補者とはなれない。

5 提案者が1者又は参加申込みがない場合の取扱い

提案者が1者のみの場合であっても評価は実施し、評価の結果において基準点を満たすときは、当該提案者を受託候補者とする。また、基準点に満たない場合又は参加申込みが無い場合は、再度検討する。